

令和5年度第4回南会津町地域公共交通会議次第

日 時 令和5年12月21日（木）

午後1時30分から

場 所 南会津町役場 3階 正庁

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協 議

（1）令和5年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について【資料1】

（2）南会津町地域公共交通計画（骨子案）について【資料2】

（3）その他

4 閉 会

南会津町地域公共交通会議の構成員

令和5年12月現在

区 分	団体・機関等	職 名	氏 名
(1)町長が指名する役職員	南会津町	副町長	佐 藤 一 範
(2)一般乗合旅客自動車運送事業者の代表	会津乗合自動車株式会社	乗合バス部長	小 澤 睦
	南会津町事業者代表 田島タクシー有限会社	代表取締役	馬 場 丈 晴
	会津交通株式会社	代表取締役	吉 田 正 寿
(3)一般乗用旅客自動車運送事業者の組織する団体の代表	公益社団法人福島県バス協会	専務理事	穴 戸 紳一郎
	一般社団法人福島県タクシー協会会津支部	支部長	佐 藤 俊 材
(4)住民又は利用者の代表	高齢者代表	田島地区老人クラブ 連絡協議会会長	高 橋 紀
	婦人代表	舘岩商工会女性部長	芳 賀 久 美
	青年代表	南郷青年会事務局長	五十嵐 太 介
	児童生徒保護者代表	田島小学校PTA会長	高 倉 由 雅
(5)東北運輸局長若しくは福島運輸支局長又はその指名する者	国土交通省東北運輸局 福島運輸支局	首席運輸企画専門官	佐々木 由 隆
(6)一般乗合自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表	会津乗合自動車株式会社 労働組合	書記長	山 田 保 道
	福島県ハイヤータクシー労働組合会津支部	組合員	浅 井 角 栄
(7)道路管理者、福島県警察、学識経験者その他の交通会議が必要と認める者	南会津地方振興局	県民環境部主幹兼副部長 兼県民環境課長	渡 邊 啓 晃
	南会津警察署	地域交通課長	根 本 瞬
	南会津町建設事務所	主幹兼企画管理部長	丸 山 泰 人
	南会津町社会福祉協議会	事務局長	渡 部 浩 治
	会津鉄道株式会社	駅事業部部長兼会津田島駅駅長	湯 田 仁
(8)事務局	南会津町総合政策課	事務局長（課長）	星 良 栄
	南会津町総合政策課	事務局次長（係長）	舟 木 浩 隆
	南会津町総合政策課	事務局員	室 井 成 美
(9)受託業者	株式会社ケー・シー・エス 東北支社	東北支社長	吉 富 貴 洋
	株式会社ケー・シー・エス 東北支社	技師	伊 藤 良

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年12月21日

協議会名: 南会津町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
会津交通株式会社 田島タクシー有限会社 有限会社祇園タクシー	系統名:荒海地域 営業区域:荒海・永田・田島地域 ・まちのお知らせ及び広報みなみあいづ利用の仕方や例を掲載し、便利さをアピールすることにより、利用促進につなげる。 ・各タクシー業者車両及び各乗降場所へチラシを設置し町民への周知を図る。 ・乗降場所について、商業・医療施設及び公共施設を中心に設定し、実態に応じて随時見直ししていく。 ・鉄道やバス、デマンド交通を含めたネットワークが一目で分かるマップの作成・町内全戸配布。 ・デマンド交通が外から見ても認識しやすいように車両マグネットを作成する。 ・デマンド交通の出前講座を定期的に開催し利用の定着を図る。	【前回の評価結果】 ・高齢者の集まるサロンなどで、デマンドタクシーの利用出前講座を行い、利用促進を図っていく。 ・社会福祉協議会と連携し、自宅訪問の際にケアマネージャーなどから利用方法の説明をしてもらったり、要望があれば説明に伺うなど、交通弱者へピンポイントで案内を行う。 ・定期的に事業者と意見交換をし、指定場所の追加や、運行時間・本数など、利用者にとってより利用しやすい公共交通を目指す。 ・利用者が増えていく中で、目的地までの運行時間が長くなるなど、違った苦情等が出てくる可能性も踏まえ、デマンドタクシーのメリットデメリットについて、利用者に理解していただく説明をできるよう努める。 【評価結果の反映状況】 ・今年度についても地区のサロンなどに参加することができなかった。 ・事業者との定期的な意見交換により、令和5年8月から地区ごとにおおよそのお迎え時間を設定し、利用者の不安と事業者の事務軽減を図ることができた。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 【目標値】3,172名 【実績値】3,479名 【達成率】109.7% 【計画運行回数】1,220回 【実績運行回数】1,247回 【運行割合】102.2% 昨年度に引き続き目標値を上回る結果となった。通動利用者やリピーターが多くいる系統であることが理由だと考えられる。 利用者の予約が多い時間帯については、車両を2台用意し、運行を行う日もあったため、運行回数が増加した。	・引き続き高齢者の集まるサロンなどで、デマンドタクシーの利用出前講座を行い利用促進を図る。 ・社会福祉協議会と連携し、自宅訪問の際にケアマネージャーなどから利用方法の説明をしてもらったり、要望があれば説明に伺うなど、交通弱者へピンポイントで案内を行う。 ・利用方法をまとめた動画を作成し、わかりやすい周知を目指す。 ・定期的に事業者と意見交換をし、事業者の負担を増やさず、利用者にとってより利用しやすい公共交通になるよう改善していく。
会津交通株式会社 田島タクシー有限会社 有限会社祇園タクシー	系統名:長野地域 営業区域:長野・田部原・田島地域 ・まちのお知らせ及び広報みなみあいづ利用の仕方や例を掲載し、便利さをアピールすることにより、利用促進につなげる。 ・各タクシー業者車両及び各乗降場所へチラシを設置し町民への周知を図る。 ・乗降場所について、商業・医療施設及び公共施設を中心に設定し、実態に応じて随時見直ししていく。 ・鉄道やバス、デマンド交通を含めたネットワークが一目で分かるマップの作成・町内全戸配布。 ・デマンド交通が外から見ても認識しやすいように車両マグネットを作成する。 ・デマンド交通の出前講座を定期的に開催し利用の定着を図る。	【前回の評価結果】 ・高齢者の集まるサロンなどで、デマンドタクシーの利用出前講座を行い、利用促進を図っていく。 ・社会福祉協議会と連携し、自宅訪問の際にケアマネージャーなどから利用方法の説明をしてもらったり、もし要望があれば説明に伺うなど、交通弱者へピンポイントで案内を行う。 ・定期的に事業者と意見交換をし、指定場所の追加や、運行時間・本数など、利用者にとってより利用しやすい公共交通を目指す。 ・目標値の設定について、期待を込めた数字で設定してしまったため、今年度も昨年度に引き続き実績値との乖離が生じた事も踏まえ、実績値により近いかたちでの目標設定に努める。 【評価結果の反映状況】 ・目標値の設定の際には昨年度の実績分析し、より実績値に近い形で目標値を設定することができた。 ・今年度は高齢者が集まるサロンで2回デマンドタクシー利用促進の説明会を開催することができ、利用促進はもちろん、すでに利用したことがある方の声も聞くことができた。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 【目標値】732名 【実績値】561名 【達成率】76.6% 【計画運行回数】488回 【実績運行回数】382回 【運行割合】78.3% 昨年度が目標値が期待を込めた数字で設定してしまっていたため、実績値との乖離が生じていた。今年度は目標値をより実績値に近い数字を設定できたため達成率及び運行割合共に80%に近い結果となった。 昨年度より利用者は増加したものの、やはり朝一番の通院時には間に合わない運行時間のため、通院の際には鉄道や路線バスを利用される方も多い。 また、地域柄同居家族が多数いるため、買い物などの外出は同居家族などに頼む方などが多いことがわかっている。	・引き続き高齢者の集まるサロンなどで、デマンドタクシーの利用出前講座を行い利用促進を図る。 ・社会福祉協議会と連携し、自宅訪問の際にケアマネージャーなどから利用方法の説明をもらったり、要望があれば説明に伺うなど、交通弱者へピンポイントで案内を行う。 ・利用方法をまとめた動画を作成し、わかりやすい周知を目指す。 ・定期的に事業者と意見交換をし、事業者の負担を増やさず、利用者にとってより利用しやすい公共交通になるよう改善していく。
会津交通株式会社 田島タクシー有限会社 有限会社祇園タクシー	系統名:栗生沢地域 営業区域:田部・田部原・水無・栗生沢・田島地域 (予約は小出原地区のみ) ・まちのお知らせ及び広報みなみあいづ利用の仕方や例を掲載し、便利さをアピールすることにより、利用促進につなげる。 ・各タクシー業者車両及び各乗降場所へチラシを設置し町民への周知を図る。 ・乗降場所について、商業・医療施設及び公共施設を中心に設定し、実態に応じて随時見直ししていく。 ・鉄道やバス、デマンド交通を含めたネットワークが一目で分かるマップの作成・町内全戸配布。 ・デマンド交通が外から見ても認識しやすいように車両マグネットを作成する。 ・デマンド交通の出前講座を定期的に開催し利用の定着を図る。	【前回の評価結果】 ・高齢者の集まるサロンなどで、デマンドタクシーの利用出前講座を行い、利用促進を図っていく。 ・社会福祉協議会と連携し、自宅訪問の際にケアマネージャーなどから利用方法の説明をもらったり、要望があれば説明に伺うなど、交通弱者へピンポイントで案内を行う。 ・定時定路線の区域の住民から、ドアツードアのデマンド型を望む利用者の声が増加してきたことを踏まえ、区長、運行事業者との協議を進め、住民の意見も取り入れつつ、本当にデマンド化が可能なのか、どのような方法であれば可能なのかを協議し、実現に向け進めている。 【評価結果の反映状況】 ・今年度についても地区のサロンなどに参加することができなかった。 ・ドアツードアのデマンド型への移行検討については、各区長や運行事業者との協議が未だに整っていないため、引き続き協議を行う。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 【目標値】5,124名 【実績値】4,137名 【達成率】80.7% 【計画運行回数】1,464回 【実績運行回数】1,464回 【運行割合】100.0% 地域住民の要望通り、定時定路線型をベースとし、交通空白地区であった小出原地区のみ電話予約の一部デマンド型にしているため、地域全てをカバーすることができている。利用人数及び達成率は前年度より増やすことができた。	・引き続き高齢者の集まるサロンなどで、デマンドタクシーの利用出前講座を行い利用促進を図る。 ・社会福祉協議会と連携し、自宅訪問の際にケアマネージャーなどから利用方法の説明をもらったり、要望があれば説明に伺うなど、交通弱者へピンポイントで案内を行う。 ・利用方法をまとめた動画を作成し、わかりやすい周知を目指す。 ・定期的に事業者と意見交換をし、事業者の負担を増やさず、利用者にとってより利用しやすい公共交通になるよう改善していく。 ・今後も引き続きドアツードアのデマンド型を視野に、区長、運行事業者との協議を進め、住民の意見も取り入れつつ、本当にデマンド化が可能なのか、どのような方法であれば可能なのかを協議し、実現に向け進めていく。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
会津交通株式会社	系統名: 館岩地域内 営業区域: 館岩地域内全域 ・まちのお知らせ及び広報みなみあいづへ利用の仕方や例を掲載し、便利さをアピールすることにより、利用促進につなげる。 ・各タクシー業者車両及び各乗降場所へチラシを設置し、町民への周知を図る。 ・乗降場所について、商業・医療施設及び公共施設を中心に設定し、実態に応じて随時見直ししていく。 ・鉄道やバス、デマンド交通を含めたネットワークが一目で分かるマップの作成・町内全戸配布。 ・デマンド交通が外から見ても認識しやすいように車両マグネットを作成する。 ・デマンド交通の出前講座を定期的に開催し利用の定着を図る。	【前回の評価結果】 ・高齢者の集まるサロンなどで、デマンドタクシーの利用出前講座を行い、利用促進を図っていく。 ・社会福祉協議会と連携し、自宅訪問の際にケアマネージャーなどから利用方法の説明をしてもらったり、要望があれば説明に伺うなど、交通弱者へピンポイントで案内を行う。 ・定期的に事業者と意見交換をし、運行時間・本数など、利用者にとってより利用しやすい公共交通を目指す。 ・夏休みは地元の中学生が部活へ行くための手段として利用していたこともあり、高齢者だけではなく、広い世代に利用してもらえるよう周知していく。 【評価結果の反映状況】 ・各地区で、デマンドタクシー利用説明会を合計7回実施し、周知徹底を図った。さらに、デマンドタクシー利用方法という動画を運行事業者協力のもと作成し、説明会で流したところ、とてもわかりやすいとの声をたくさんいただいた。町の公式YouTubeでも動画を公開しており、館岩地域以外でも活用できると期待している。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 【目標値】1,220名 【実績値】978名 【達成率】80.2% 【計画運行回数】732回 【実績運行回数】595回 【運行割合】81.3% 利用者のほとんどが地元にある診療所への通院であり、行きと帰りの時間がほぼ固定されているため、利用者が利用しない時間帯があった。	・引き続き高齢者の集まるサロンなどで、デマンドタクシーの利用出前講座を行い利用促進を図る。 ・社会福祉協議会と連携し、自宅訪問の際にケアマネージャーなどから利用方法の説明をもらったり、要望があれば説明に伺うなど、交通弱者へピンポイントで案内を行う。 ・利用方法をまとめた動画を作成済なので、引き続き動画でのわかりやすい周知を行っていく。 ・定期的に事業者と意見交換をし、事業者の負担を増やさず、利用者にとってより利用しやすい公共交通になるよう改善していく。
会津交通株式会社	系統名: 館岩田島地域間 営業区域: 館岩地域全域及び田島地域 ・まちのお知らせ及び広報みなみあいづへ利用の仕方や例を掲載し、便利さをアピールすることにより、利用促進につなげる。 ・各タクシー業者車両及び各乗降場所へチラシを設置し、町民への周知を図る。 ・乗降場所について、商業・医療施設及び公共施設を中心に設定し、実態に応じて随時見直ししていく。 ・鉄道やバス、デマンド交通を含めたネットワークが一目で分かるマップの作成・町内全戸配布。 ・デマンド交通が外から見ても認識しやすいように車両マグネットを作成する。 ・デマンド交通の出前講座を定期的に開催し利用の定着を図る。	【前回の評価結果】 ・高齢者の集まるサロンなどで、デマンドタクシーの利用出前講座を行い、利用促進を図っていく。 ・社会福祉協議会と連携し、自宅訪問の際にケアマネージャーなどから利用方法の説明をもらったり、要望があれば説明に伺うなど、交通弱者へピンポイントで案内を行う。 ・定期的に事業者と意見交換をし、田島地域の乗降指定場所の追加や、運行時間・本数など、利用者にとってより利用しやすい公共交通を目指す。 【評価結果の反映状況】 ・各地区で、デマンドタクシー利用説明会を合計7回実施し、周知徹底を図った。さらに、デマンドタクシー利用方法という動画を運行事業者協力の元作成し、説明会で流したところ、とてもわかりやすいとの声をたくさんいただいた。町の公式YouTubeでも動画を公開しており、館岩地域以外でも活用できると期待している。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 【目標値】2,051名 【実績値】2,584名 【達成率】126.0% 【計画運行回数】879回 【実績運行回数】965回 【運行割合】109.8% 達成率、運行割合共に100%を超えるなど、昨年以上に利用していただいた。 ノンストップで目的地へ行けること、安価で田島地域との行き来ができ、路線バスが一部区間廃止になったことの代替手段として定着しているように思われる。 また、冬期はスキー場のスタッフが寮から会津高原尾瀬口駅までの利用をしているケースなども見受けられ、観光利用にもつなげていけるのではないかと期待できる結果となった。	・引き続き高齢者の集まるサロンなどで、デマンドタクシーの利用出前講座を行い利用促進を図る。 ・社会福祉協議会と連携し、自宅訪問の際にケアマネージャーなどから利用方法の説明をもらったり、要望があれば説明に伺うなど、交通弱者へピンポイントで案内を行う。 ・利用方法をまとめた動画を作成済なので、引き続き動画でのわかりやすい周知を行っていく。 ・定期的に事業者と意見交換をし、事業者の負担を増やさず、利用者にとってより利用しやすい公共交通になるよう改善していく。
会津交通株式会社 田島タクシー有限会社 有限会社祇園タクシー	系統名: 松沢地域 営業区域: 松沢・田島地域 ・まちのお知らせ及び広報みなみあいづへ利用の仕方や例を掲載し、便利さをアピールすることにより、利用促進につなげる。 ・各タクシー業者車両及び各乗降場所へチラシを設置し、町民への周知を図る。 ・乗降場所について、商業・医療施設及び公共施設を中心に設定し、実態に応じて随時見直ししていく。 ・鉄道やバス、デマンド交通を含めたネットワークが一目で分かるマップの作成・町内全戸配布。 ・デマンド交通が外から見ても認識しやすいように車両マグネットを作成する。 ・デマンド交通の出前講座を定期的に開催し利用の定着を図る。	【前回の評価結果】 令和5年度新規事業のため、前回事業評価なし。 【評価結果の反映状況】	A 計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで実証運行を行い、令和5年4月1日から本格運行を開始した。 【目標値】369名 【実績値】368名 【達成率】99.7% 【計画運行回数】246回 【実績運行回数】246回 【運行割合】100.0% 達成率も99.7%とほぼ100%であり、運行割合についても100%で、目標値どおり利用していただけた。 実証運行の段階から区長の皆さんに周知の協力など積極的に行っていた結果だと思われる。	・引き続き高齢者の集まるサロンなどで、デマンドタクシーの利用出前講座を行い利用促進を図る。 ・社会福祉協議会と連携し、自宅訪問の際にケアマネージャーなどから利用方法の説明をもらったり、要望があれば説明に伺うなど、交通弱者へピンポイントで案内を行う。 ・利用方法をまとめた動画を作成し、わかりやすい周知を目指す。 ・定期的に事業者と意見交換をし、事業者の負担を増やさず、利用者にとってより利用しやすい公共交通になるよう改善していく。

※枠の大きさの変更は可能です。

南会津町地域公共交通会議

令和2年7月1日事業開始(荒海・長野地域)
令和2年10月1日事業開始(栗生沢地域)

事業名: 令和5年度地域内フィーダー系統

生活交通確保維持改善計画

目的・必要性

・高齢化による乗合場所への歩行の困難さなどを解消するため、ドアツードアの通院や買い物のニーズに配慮した移動手段の充実を図る。

確保・維持する系統の概要

【地域内フィーダー系統】

- ・荒海地域・長野地域・栗生沢地域デマンドタクシー
- ・運行事業者: 会津交通株式会社、田島タクシー有限会社、有限会社祇園タクシー
- ・系統数: 3系統(荒海地域、長野地域、栗生沢地域)
- ・運賃: 大人300円 75歳以上200円
小中学生・障がいのある方100円

【荒海地域の滝原・萩野・羽塩・糸沢地区のみ下記料金】

- 大人600円 75歳以上400円
小中学生・障がいのある方200円
- ・運行日: 平日のみ(土日・祝日・12月29日～1月3日は運休)
- ・運行区域図: 別途添付



事業・実施主体

- ・まちのお知らせ及び広報みなみあいづへ利用の仕方や例を掲載し、便利さをアピールすることにより、利用促進につなげる。(南会津町)
- ・各タクシー業者車両及び各乗降場所へチラシを設置し町民への周知を図る。(南会津町)
- ・乗降場所について、商業・医療施設及び公共施設を中心に設定し、実態に応じて随時見直ししていく。(南会津町)
- ・鉄道や路線バス、デマンド交通も含めた公共交通のネットワークが一目で分かるマップの作成・町内全戸配布。(南会津町)
- ・デマンド交通が外から見ても認識しやすいように車両マグネットを作成する。(南会津町)
- ・デマンド交通の出前講座を定期的に行い、利用の定着を図る。(南会津町)

定量的な目標・効果

【目標】

- ・荒海地域デマンドタクシー 3,172名 計画運行回数 1,220回
- ・長野地域デマンドタクシー 732名 計画運行回数 488回
- ・栗生沢地域デマンドタクシー 5,124名 計画運行回数 1,464回

【効果】

・今まで乗合場所まで歩行することが困難で外出できなかった高齢者などが、ドアツードアによる運行により、気軽に外出ができるようになるため利用促進が期待される。また、予約制のため、利用者がいる際のみの運行となり経費削減も見込まれる。

※記入する際、枠の大きさの変更及び頁追加のうえ作成することも可能とします。

基礎データ

合併状況: 平成18年3月に4町村が合併
人口: 13,774人(令和5年12月1日現在)
面積: 886.47平方キロメートル
高齢化率: 43.7%(令和5年12月1日現在)
会議開催数: 会議4回内2回書面開催(令和4年10月～令和5年9月)

前回の評価結果

【達成状況(結果)】

- ・荒海地域デマンドタクシー 3,254名(達成率121.7%) 実績運行回数 1,205回(運行割合124.0%)
- ・長野地域デマンドタクシー 400名(達成率27.4%) 実績運行回数 297回(運行割合40.7%)
- ・栗生沢地域デマンドタクシー 3,900名(達成率76.4%) 実績運行回数 1,458回(運行割合100%)

【評価】

- ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価③前回評価結果のとおり
- ・長野地域について、目標値を大幅に下回っており、自己評価に記載のあるとおり、目標値の再検討が必要と考えられます。併せて朝の通院等、利用者のニーズを改めて把握し、地域のニーズに対応した運行となるよう見直しが図られることを期待します。(運輸局)
- ・栗生沢地域について、目標が達成されなかった原因について分析を行い、当該分析に対応した今後のさらなる改善策の検討・実施・検証を行っていく必要があります。併せて、自己評価にあるデマンド化を含め、利用者のニーズを改めて把握し、地域のニーズに対応した運行となるよう見直しが図られることを期待します。(運輸局)
- ・地区のサロン訪問等の利用促進等については、地域の実情を踏まえ、十分な感染対策のもと実施を継続することで、新規需要の掘り起こしやさらなる利用促進が図られることを期待します。(運輸局)

評価項目

実施状況、目標・効果の達成状況

【実施状況等】

- ・昨年度に引き続き、リピーターの方のロコミにより、新規利用客も徐々に増えてきた。電話予約についても定着している様子が伺える。今年度は、一部の地域のみであるが、希望のあった地区のサロンなどへの出前講座を実施し、デマンドタクシーの利用方法などを説明することができた。運行事業者とも定期的な話し合いの場を設け、意見交換をし、デマンドタクシーのさらなる利便性の向上に努めた。その結果、令和5年8月より地区ごとにおおよそのお迎え時間を設定し、利用者の不安と事業者の事務軽減を図ることができた。

【実績】

- ・荒海地域デマンドタクシー 3,479名(達成率109.7%) 実績運行回数 1,247回(運行割合102.2%)
- ・長野地域デマンドタクシー 561名(達成率76.6%) 実績運行回数 382回(運行割合78.3%)
- ・栗生沢地域デマンドタクシー 4,137名(達成率80.7%) 実績運行回数 1,464回(運行割合100%)

※評価の判定基準

- ・A ⇒ 目標達成100%以上
- ・B ⇒ 目標達成80%以上100%未満
- ・C ⇒ 目標達成80%未満、又は、補助対象外(1運行当たり2人未満、運行割合30%未満)

事業の今後の改善点

- ・主な、利用者である高齢者への周知を徹底するため、定期的に回覧板でのチラシの配布や、高齢者の集まるサロンで詳しい利用方法の説明を行う。
- ・利用方法をまとめた動画を作成し、よりわかりやすい周知を行っていく。
- ・利用者の声や、事業者の声を収集し、より利用しやすい交通手段になるよう、時間・本数・指定場所を検討する。

南会津町地域公共交通会議

令和4年4月1日事業開始
(館岩地域内・館岩田島地域間)

事業名: 令和5年度地域内フィーダー系統

生活交通確保維持改善計画

目的・必要性

・高齢化による乗合場所への歩行の困難さなどを解消するため、ドアツードアの通院や買い物のニーズに配慮した移動手段の充実を図る。

確保・維持する系統の概要

【地域内フィーダー系統】 館岩地域デマンドタクシー

- ・運行事業者: 会津交通株式会社
- ・系統数: 2系統(館岩地域内、館岩田島地域間)
- ・運賃(館岩地域内) 大人300円 75歳以上200円
小中学生・障がいのある方100円
(館岩田島地域間: 乗車区間により異なる)
大人900～1,500円 75歳以上600～1,000円
小中学生・障がいのある方300～500円
- ・運行日: 平日のみ(土日・祝日・12月29日～1月3日は運休)
※ただし、館岩田島地域間のみ土曜日も運行
- ・運行区域図: 別途添付



事業・実施主体

- ・まちのお知らせ及び広報みなみあいづへ利用の仕方や例を掲載し、便利さをアピールすることにより、利用促進につなげる。(南会津町)
- ・タクシー業者車両及び各乗降場所へチラシを設置し町民への周知を図る。(南会津町)
- ・乗降場所について、商業・医療施設及び公共施設を中心に設定し、実態に応じて随時見直ししていく。(南会津町)
- ・鉄道や路線バス、デマンド交通も含めた公共交通のネットワークが一目で分かるマップの作成・町内全戸配布。(南会津町)
- ・デマンド交通が外から見ても認識しやすいように車両マグネットを作成する。(南会津町)
- ・デマンド交通の出前講座を定期的に行い、利用の定着を図る。(南会津町)

定量的な目標・効果

【目標】

- ・館岩地域内 1,220名 計画運行回数 732回
- ・館岩田島地域間 2,051名 計画運行回数 879回

【効果】

- ・路線バスの減便、一部区間廃止に伴う住民生活交通の足を確保するため、ドアツードアのデマンド型で運行を行うことにより、路線バスでカバーしきれない部分をカバーすることができる。さらに鉄道との接続により、館岩地域内のペンションなどに来る首都圏の観光客の利用も期待できる。

基礎データ

合併状況: 平成18年3月に4町村が合併
人 口: 13,774人(令和5年12月1日現在)
面 積: 886.47平方キロメートル
高齢化率: 43.7%(令和5年12月1日現在)
会議開催数: 会議4回内2回書面開催(令和4年10月～令和5年9月)

前回の評価結果

【達成状況(結果)】

- ・館岩地域内 469名 (達成率34.7%) 実績運行回数 261回 (運行割合53.0%)
- ・館岩田島地域間 1,134名 (達成率85.1%) 実績運行回数 451回 (運行割合101.6%)

【評価】

- ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価③前回評価結果のとおり
- ・館岩地域内について、目標値を大幅に下回っており、目標値は適切であるか再検討が必要と考えられます。併せて、時間帯によって利用状況に大きくばらつきがあると思われることから、利用者のニーズを改めて把握し、地域のニーズに対応した運行となるよう見直しが図られることを期待します。(運輸局)
- ・地区のサロン訪問等の利用促進等については、地域の実情を踏まえ、十分な感染対策のもと実施を継続することで、新規需要の掘り起こしやさらなる利用促進が図られることを期待します。(運輸局)

評価項目

実施状況、目標・効果の達成状況

【実施状況等】

- ・各地区でデマンドタクシー利用説明会を合計7回実施し、周知徹底を図った。さらに、デマンドタクシー利用方法という動画を運行事業者協力の元作成し、説明会で上映するなど高齢者にもわかりやすい利用方法説明を実施できた。また、動画については町の公式YouTubeでも公開しており、館岩地域ではない地域でも活用できると期待している。

【実績】

- ・館岩地域内 978名 (達成率80.2%) 実績運行回数 595回 (運行割合81.3%)
- ・館岩田島地域間 2,584名 (達成率126.0%) 実績運行回数 965回 (運行割合109.8%)

※評価の判定基準

- ・A ⇒ 目標達成100%以上
- ・B ⇒ 目標達成80%以上100%未満
- ・C ⇒ 目標達成80%未満、又は、補助対象外(1運行当たり2人未満、運行割合30%未満)

事業の今後の改善点

- ・主な、利用者である高齢者への周知を徹底するため、定期的に回覧板でのチラシの配布や、高齢者の集まるサロンで詳しい利用方法の説明を行う。
- ・利用者の声や、事業者の声を収集し、より利用しやすい交通手段になるよう、時間・本数・指定場所を検討する。
- ・デマンドタクシー利用方法の動画を活用し、わかりやすい周知を徹底する。

※記入する際、枠の大きさの変更及び頁追加のうえ作成することも可能とします。

南会津町地域公共交通会議

令和5年4月1日事業開始
(桧沢地域)

事業名: 令和5年度地域内フィーダー系統

生活交通確保維持改善計画

目的・必要性

・高齢化による乗合場所への歩行の困難さなどを解消するため、ドアツードアの通院や買い物のニーズに配慮した移動手段の充実を図る。

確保・維持する系統の概要

【地域内フィーダー系統】 桧沢地域デマンドタクシー

・運行事業者: 会津交通株式会社、田島タクシー有限会社、有限会社祇園タクシー

・系統数: 1系統

・運賃 (桧沢地域内) 大人300円 75歳以上200円

小中学生・障がいのある方100円

(針生地域のみ) 大人600円 75歳以上400円

小中学生・障がいのある方200円

・運行日: 平日のみ(土日・祝日・12月29日～1月3日は運休)

・運行区域図: 別途添付



事業・実施主体

・まちのお知らせ及び広報みなみあいづへ利用の仕方や例を掲載し、便利さをアピールすることにより、利用促進につなげる。(南会津町)

・タクシー業者車両及び各乗降場所へチラシを設置し町民への周知を図る。(南会津町)

・乗降場所について、商業・医療施設及び公共施設を中心に設定し、実態に応じて随時見直ししていく。(南会津町)

・鉄道や路線バス、デマンド交通も含めた公共交通のネットワークが一目で分かるマップの作成・町内全戸配布。(南会津町)

・デマンド交通が外から見ても認識しやすいように車両マグネットを作成する。(南会津町)

・デマンド交通の出前講座を定期的に行い、利用の定着を図る。(南会津町)

定量的な目標・効果

【目標】

・桧沢地域デマンドタクシー 369名 計画運行回数 246回

【効果】

・今まで乗合場所まで歩行することが困難で外出できなかった高齢者などが、ドアツードアによる運行により、気軽に外出ができるようになるため利用促進が期待される。また、予約制のため、利用者がいる際のみの運行となり経費削減も見込まれる。

基礎データ

合併状況: 平成18年3月に4町村が合併

人 口: 13,774人(令和5年12月1日現在)

面 積: 886.47平方キロメートル

高齢化率: 43.7%(令和5年12月1日現在)

会議開催数: 会議4回内2回書面開催(令和4年10月～令和5年9月)

前回の評価結果

【達成状況(結果)】

・令和5年度計画新規事業の為、達成状況(結果)なし。

【評価】

・令和5年度計画新規事業の為、評価なし。

評価項目

実施状況、目標・効果の達成状況

【実施状況等】

・実証運行時から地区の区長の協力により、周知や利用方法についてうまく定着していたように感じる。

・地域内移動も可能なことから、自宅から地区の公民館までの利用なども見られるようになってきた。

・事業者との定期的な意見交換により、令和5年8月から地区ごとにおおよそのお迎え時間を設定し、利用者の不安と事業者の事務軽減を図ることができた。

・地区のサロンに参加し、利用方法の説明などを行い、利用促進を図ることができた。

【実績】

・桧沢地域デマンドタクシー 368名 (達成率99.7%) 実績運行回数 246回 (運行割合100.0%)

※評価の判定基準

・A ⇒ 目標達成100%以上

・B ⇒ 目標達成80%以上100%未満

・C ⇒ 目標達成80%未満、又は、補助対象外(1運行当たり2人未満、運行割合30%未満)

事業の今後の改善点

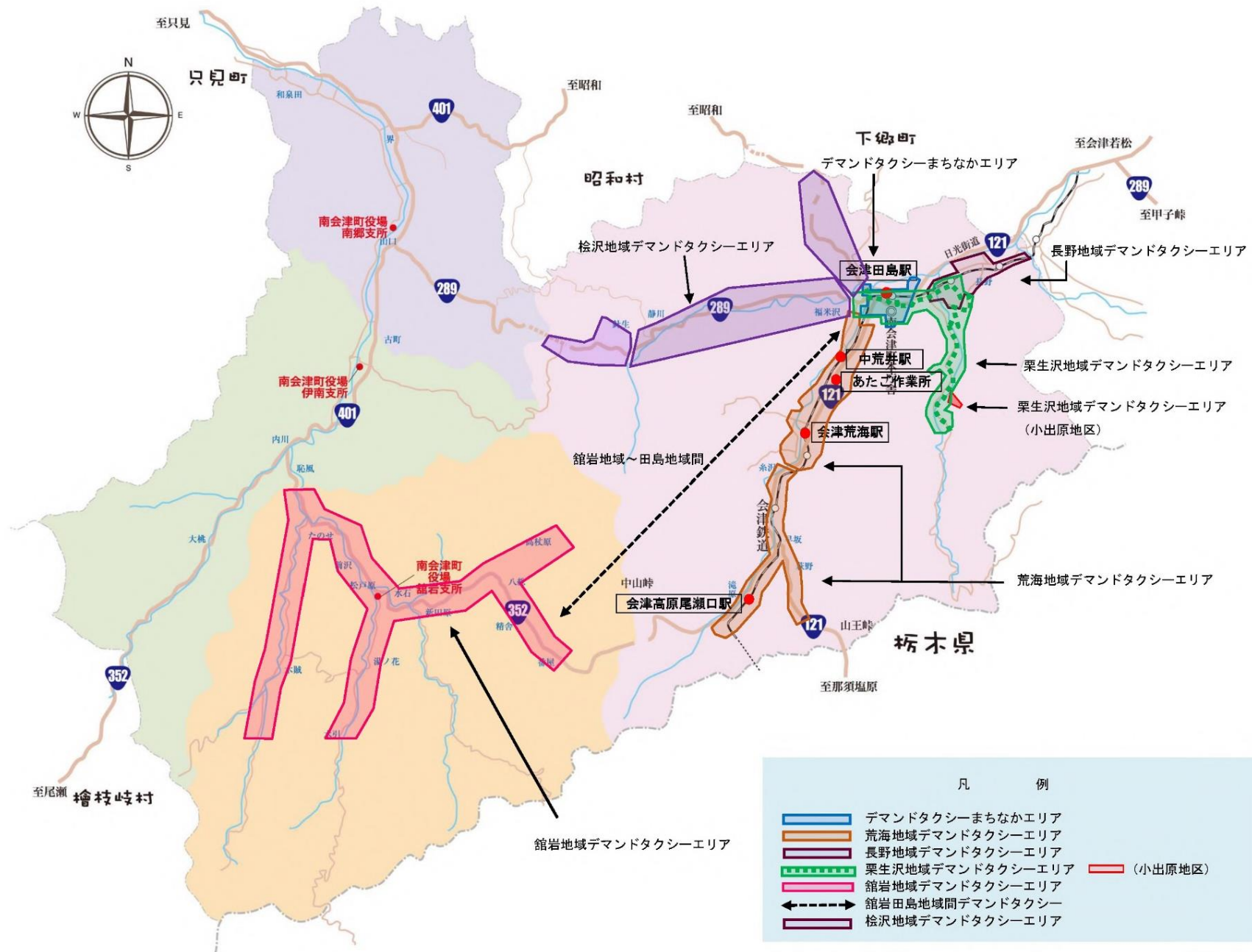
・主な、利用者である高齢者への周知を徹底するため、定期的に回覧板でのチラシの配布や、高齢者の集まるサロンで詳しい利用方法の説明を行う。

・利用方法をまとめた動画を作成し、よりわかりやすい周知を行っていく。

・利用者の声や、事業者の声を収集し、より利用しやすい交通手段になるよう、時間・本数・指定場所を検討する。

南会津町地域公共交通会議

荒海地域・長野地域・栗生沢地域・館岩地域内・館岩田島地域間・桧沢地域デマンドタクシー運行区域図



南会津町地域公共交通会議

荒海地域・長野地域・栗生沢地域デマンドタクシー運行時刻表

【荒海地域デマンドタクシー】

往路の便 **自宅**発—指定場所行： ① **8：00** ② **10：30** ③ **14：00**
（滝原→萩野→羽塩→糸沢→古今→藤生→関本→川島→中荒井→永田の順番で自宅へお迎えに行きます）
復路の便 指定場所発—**自宅**行： ① **11：30** ② **13：00** ③ **16：00**
（永田→中荒井→川島→関本→藤生→古今→糸沢→羽塩→萩野→滝原の順番で自宅へお送りします）
※出発時間**30分前**までにご連絡ください。
ただし、**8：00**の便については、**前日17：00**までにご連絡ください。



【長野地域デマンドタクシー】

往路の便 **自宅**発—指定場所行： ① **10：00** ② **13：30**（長野→田部原の順番で自宅へお迎えに行きます）
復路の便 指定場所発—**自宅**行： ① **12：00** ② **16：00**（田部原→長野の順番で自宅へお送りします）
※出発時間**30分前**までにご連絡ください。

（デマンドタクシー指定場所）

- ①県立南会津病院 ②あべクリニック ③南会津合同庁舎 ④馬場医院 ⑤ヨークベニマル田島店 ⑥南会津町役場 ⑦会津信用金庫
 - ⑧旧長谷川医院 ⑨会津田島駅 ⑩田島郵便局 ⑪東邦銀行 ⑫高橋医院 ⑬東北労働金庫 ⑭JA会津よつば田島店 ⑮きむらクリニック ⑯大東銀行
 - ⑰ダイユーエイト ⑱リオンドール田島バイパス店 ⑲御蔵入交流館 ⑳まちの駅南会津ふるさと物産館 ㉑リオンドール田島店 ㉒コメリ
- （R3.10.1～追加）
- ㉓なかむら歯科医院 ㉔むろい歯科医院 ㉕押部歯科医院 ㉖稲富歯科医院 ㉗西町郵便局
 - ㉘特別養護老人ホーム優雅 ㉙特別養護老人ホーム田島 ㉚グループホーム花 ㉛介護付有料老人ホーム輝

※指定場所以外での乗降はできませんのでご注意ください。

【栗生沢地域デマンドタクシー】小出原地区のみ電話で予約があった場合自宅へお迎えにあがります

往路の便 **小出原（自宅）**発—南会津病院行： ① **7：20** ② **9：20** ③ **12：10**
復路の便 南会津病院発—**小出原（自宅）**行： ① **11：30** ② **14：00** ③ **16：00**
※出発時間**30分前**までにご連絡ください。
ただし、**7：20**の便については、**前日17：00**までにご連絡ください。

（運行経路）

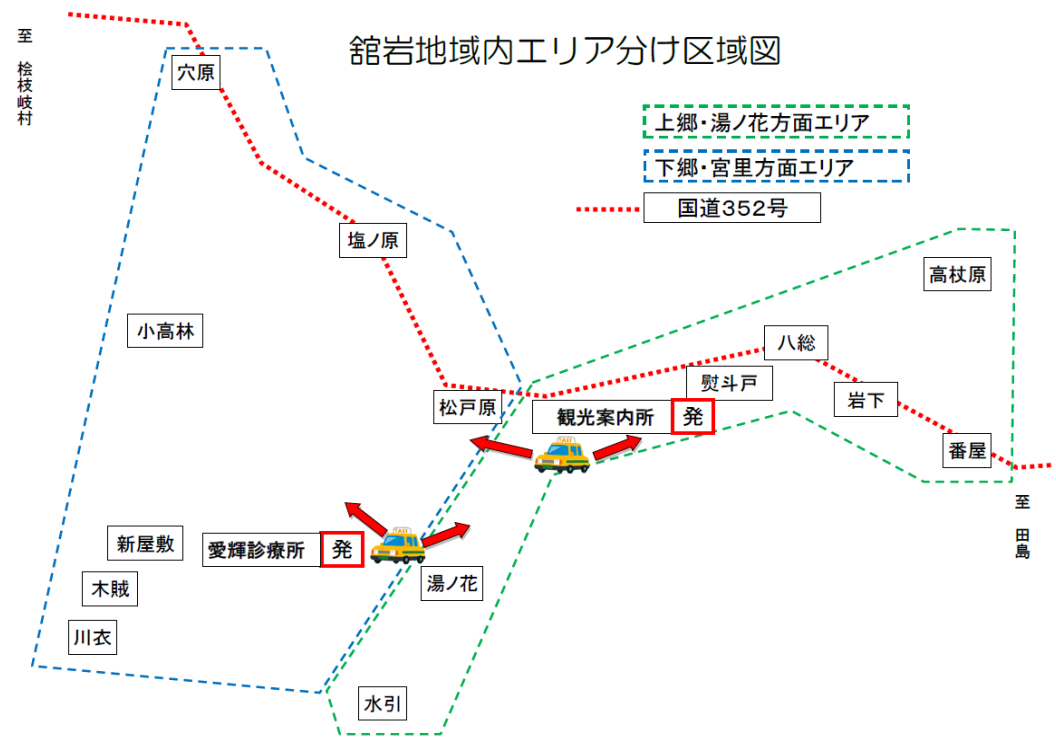
往路 **小出原（自宅）**発→栗生沢→田無沢→水無→上山根→田部→田部原住宅→田島高校前
→東荒井（リオンドール付近の県道）→東町（まるゆ駐車場付近）→中町（高橋病院付近）
→田島駅前→ヨークベニマル前→南会津病院着
復路 南会津病院発→ヨークベニマル前→田島駅前→中町（高橋病院付近）→東町（まるゆ駐車場付近）
→東荒井（リオンドール付近の県道）→田島高校前→田部原住宅→田部→上山根→水無
→田無沢→栗生沢→小出原（自宅）着

南会津病院 行き				栗生沢 行き			
小出原 発	7:20	9:20	12:10	南会津病院 発	11:30	14:00	16:00
栗生沢	7:30	9:30	12:00	ヨークベニマル前	11:35	14:05	16:05
田無沢	7:35	9:35	12:15	田島駅前	11:36	14:06	16:06
水無	7:38	9:38	12:18	中町 （高橋病院付近）	11:40	14:10	16:10
上山根	7:40	9:40	12:20	東町 （まるゆ駐車場付近）	11:41	14:11	16:11
田部	7:42	9:42	12:22	東荒井 （リオンドール付近の県道）	11:42	14:12	16:12
田部原住宅	7:44	9:44	12:24	田島高校前	11:44	14:14	16:14
田島高校前	7:46	9:46	12:26	田部原住宅	11:46	14:16	16:16
東荒井 （リオンドール付近の県道）	7:48	9:48	12:28	田部	11:48	14:18	16:18
東町 （まるゆ駐車場付近）	7:49	9:49	12:29	上山根	11:50	14:20	16:20
中町 （高橋病院付近）	7:50	9:50	12:30	水無	11:52	14:22	16:22
田島駅前	7:54	9:54	12:34	田無沢	11:55	14:25	16:25
ヨークベニマル前	7:55	9:55	12:35	栗生沢	12:00	14:30	16:30
南会津病院 着	8:00	10:00	12:40	小出原 着	12:10	14:40	16:40

南会津町地域公共交通会議

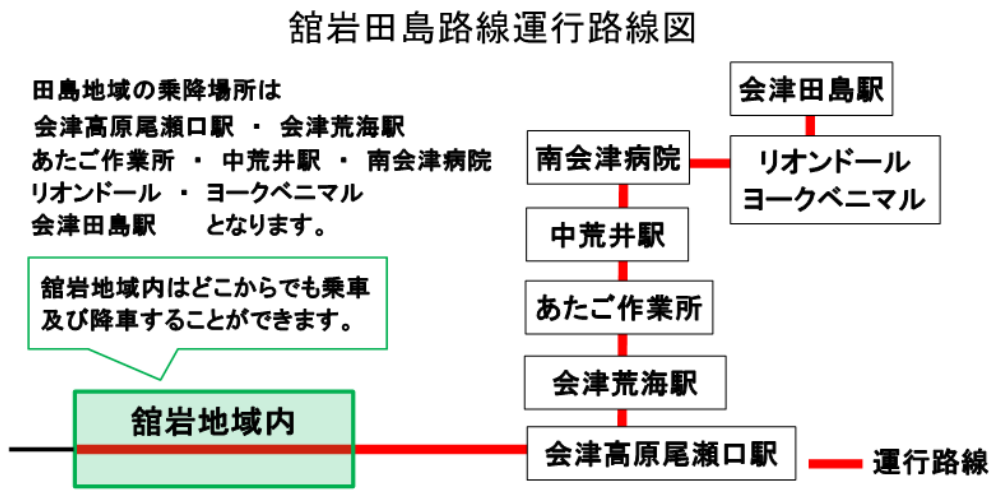
館岩地域デマンドタクシー運行時刻表

- 【館岩地域内】
- ※館岩地域内はどこでも乗り降りすることができます
地域内全域を予約状況によって2つのエリアへ分けてお迎えに行きます
- 1. 上郷・湯ノ花方面エリア
(上郷方面・湯ノ花方面・水引方面・愛輝診療所)
 - 2. 下郷・宮里方面エリア
(下郷方面・宮里方面・愛輝診療所)
- (利用時間)
- 館岩観光案内所発 ①8:30 ②13:30
 - 愛輝診療所発 ①11:00 ②12:00



- 【館岩田島地域内】 (館岩地域全域⇄田島地域)
- ※土曜日も運行
(利用時間)
- 館岩地域内発 ①7:00 ②11:00
- 鉄道乗り継ぎ
- (浅草行き) 会津高原尾瀬口駅 ①8:25発 ②13:21発
 - (会津若松行き) 会津田島駅 ①9:45発 ②12:56発
- 会津田島駅発 ①13:30 ②16:30
- 鉄道乗り継ぎ
- (会津若松から) 会津田島駅 ①12:35着 ②16:11着
 - (浅草方面から) 会津高原尾瀬口駅 ①12:20着 ②15:50着

※田島地域内では決められた場所でしか乗り降りできません



南会津町地域公共交通会議

桧沢地域デマンドタクシー運行時刻表

利 用 方 法

①電話で予約する：**0241-62-5052**

(受付時間)

出発時間の**30分前**までに**(1)～(3)**をお伝えください

※同乗者がいる場合は利用人数もお伝えください

(1)「乗車する時間」※自宅出発時間はあくまでも目安です

自宅発まちなか指定場所行 ①9:00 ②12:30

(針生から順番に自宅にお迎えにあがります)

まちなか指定場所発自宅行 ①12:00 ②15:00

(下塩江から順番に自宅へお送りします)

※高野地区のみ、高野⇄まちなか指定場所又は桧沢地域内

(2)「乗車する場所（自宅またはまちなか指定場所）」

(3)「目的地（まちなか指定場所または自宅）」

②自宅前またはまちなか指定場所でお待ちください

※桧沢地域内は自由に乗降可能です

③お支払：現金又は運転免許証自主返納支援事業共通利用券
でお支払いください

まちなか指定場所

- | | |
|-----------------|--------------|
| ①県立南会津病院 | ②①リオンドール田島店 |
| ②あベククリニック | ②コメリ |
| ③南会津合同庁舎 | ③なかむら歯科医院 |
| ④馬場医院 | ④むろい歯科医院 |
| ⑤ヨークベニマル田島店 | ⑤押部歯科医院 |
| ⑥南会津町役場 | ⑥稲富歯科医院 |
| ⑦会津信用金庫 | ⑦西町郵便局 |
| ⑧旧長谷川医院 | ⑧特別養護老人ホーム優雅 |
| ⑨会津田島駅 | ⑨特別養護老人ホーム田島 |
| ⑩田島郵便局 | ⑩グループホーム花 |
| ⑪東邦銀行 | ⑪介護付有料老人ホーム輝 |
| ⑫高橋医院 | |
| ⑬東北労働金庫 | |
| ⑭J A会津よつば田島店 | |
| ⑮きむらクリニック | |
| ⑯大東銀行 | |
| ⑰ダイユーエイト | |
| ⑱リオンドール田島バイパス店 | |
| ⑲御蔵入交流館 | |
| ⑳まちの駅南会津ふるさと物産館 | |

※指定場所以外での乗降は
できません

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和5年12月21日

協議会名： 南会津町地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域公共交通調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
【事業内容】 ・計画準備 ・地域特性の整理 ・公共交通の実態の整理 ・各種調査の実施 ・現計画の検証 ・公共交通の問題点、課題等の整理 ・課題を踏まえた基本方針の検討 ・各種会議の開催 【結果概要】 ・既存の公共交通のデータを整理し、地域の公共交通の状況を整理、把握することができた。 ・各種アンケート調査を行ったことによって町内、町外での移動需要や公共交通の利用状況を把握することができ、課題を整理することができた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された(される見込み)。	【補助対象事業名】 南会津町地域公共交通計画策定調査業務 【事業内容】 地域公共交通計画策定に係る各種データの収集や分析を行い、その結果に基づき、地域公共交通等に関する課題や問題点を整理する。結果を踏まえ、課題解決に向けた基本方針及び目標を設定し、計画を取りまとめる。 【実施時期】令和6年3月31日までに策定予定 【調査結果を受けた計画策定の方針】 今後は交通会議での検討を経て基本方針と基本目標を定め、素案を作成し、パブリックコメントを募集したのち、3月開催予定の会議を経て最終的に南会津町地域公共交通計画として取りまとめる。

地域の概要

1. 基礎データ

南会津町 人口：13,774人(R5.12.1現在・住民基本台帳)
面積：886.47平方キロメートル
過疎地域等指定：南会津町全域
高齢化率：43.7%
交通会議開催数：2回(通算4回内書面1回)(R5.4～R5.12)

2. 公共交通の概況

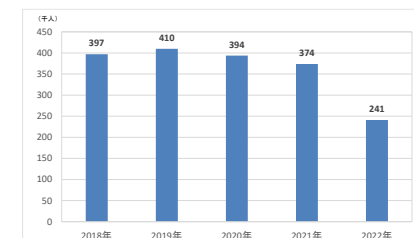
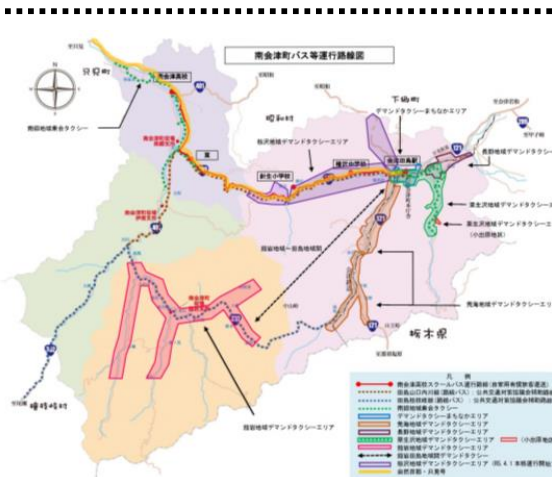
【乗合バス】
①路線バス
運 行：会津乗合自動車(株)
路 線：2系統(桧枝岐線、山口・内川線)
【乗合・デマンドタクシー】
①南郷地域乗合タクシー
運 行：会津乗合自動車(株)
エリア：南郷地域内
②荒海地域デマンドタクシー
運行：会津交通(株)、田島タクシー(有)、(有)祇園タクシー
エリア：荒海地域～田島地域
③長野地域デマンドタクシー
運行：会津交通(株)、田島タクシー(有)、(有)祇園タクシー
エリア：長野地域～田島地域
④栗生沢地域デマンドタクシー
運行：会津交通(株)、田島タクシー(有)、(有)祇園タクシー
エリア：栗生沢地域～田島地域
⑤館岩地域内デマンドタクシー
運行：会津交通(株)
エリア：館岩地域内
⑥館岩田島地域間デマンドタクシー
運行：会津交通(株)
エリア：館岩地域～田島地域
⑦桧沢地域デマンドタクシー
運行：会津交通(株)、田島タクシー(有)、(有)祇園タクシー
エリア：桧沢地域内・桧沢地域～田島地域

【鉄道】
運 行：会津鉄道(株)、野岩鉄道(株)
路 線：会津線、会津鬼怒川線
【自家用有償旅客運送】
運 行：南会津町
形 態：公共交通空白地有償運送
エリア：会津田島駅～県立南会津高校
(南郷校舎)

○鉄道・路線バス・乗合タクシー・デマンドタクシー・一般乗用タクシー・自家用有償旅客運送など様々な交通サービスを提供し、会津田島駅を中心に放射線上にネットワークを形成している。

3. 公共交通の問題点

- (1) 会津田島駅周辺は路線バスの運行やデマンドタクシーがサービスを提供しているものの、公共交通のカバー圏域から外れた地区が点在している。加えてデマンドタクシーの運行間隔の開きにより使いづらい状況や利用の低迷が見られる時間帯があり、運行内容の見直しが求められている。
- (2) 地域間の移動を支える路線バスの確保・維持に向け組の財政支援を受けているが、このままでは補助要件を満たせず財政負担の増加による持続性の低下が懸念され、喫緊の課題となっている。
- (3) 町外への移動を支える会津鉄道・野岩鉄道はコロナ前の水準まで利用者が戻り切らない状況が続いている。さらに時間帯別の利用状況を見ると、鉄道利用ピーク時に公共交通が運行しておらず、鉄道とその他の公共交通機関の円滑な乗り換えに向けた持続性の向上が求められている。
- (4) 町内には多くの観光資源を有しているが、生活移動を中心とした交通サービスであるため、観光需要を取り込み切れていない実情があり、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の観光需要回復に寄与するための公共交通の見直しが求められている。



図：会津鉄道の利用推移

路線名	輸送人員	収支率(%)	乗車密度	輸送量	町負担額(千円)
田島・山口・内川線	6,308	11.6%	0.5	2	31,175
路線名	輸送人員	収支率(%)	乗車密度	輸送量	町負担額(千円)
田島・桧枝岐線	7,656	32.2%	2.2	7	13,166

図：田島・山口・内川線/田島・桧枝岐線の運行実績(令和4年度)

※記入する際、枠の大きさの変更及び次頁に作成することも可能とします。

南会津町地域公共交通会議

調査内容

【事業評価時点で完了している内容】

1. 計画準備
2. 地域特性の整理
3. 公共交通の実態の整理
4. 各種調査の実施
 - (1) 町民アンケート調査
 - (2) 高校生アンケート調査
 - (3) バス利用実態調査
 - (4) 主要拠点乗り継ぎ実態調査
 - (5) 乗合・デマンドタクシー利用者アンケート調査
 - (6) 交通事業者ヒアリング調査
 - (7) 庁舎関係ヒアリング調査

5. 現計画の検証
6. 公共交通の問題点・課題点の整理
9. 各種会議の開催(2回)

【今後予定している内容】

7. 課題を踏まえた基本方針の検討
8. 計画案の検討・取りまとめ
9. 会議開催(残り2回)

今後の取組みについて

【スケジュール(予定)】

- 1月下旬 第3回(通算5回目)会議開催
- 2月中 パブリックコメント実施
- 3月上旬 第4回(通算6回目)会議開催
- 3月中旬 公共交通計画の策定

調査結果概要

2. 地域特性の整理

- ・総人口は1995年をピークに減少傾向にある。今後も人口減少は継続する見込みであり、おおよそ20年度には10,353人となる見込み。
- ・商業及び医療施設の立地をみると、田島地域に集積する一方、伊南・南郷・館岩地域は小規模な集積となっている。
- ・人口は会津田島駅周辺に集中しているものの、広範囲に低密度の人口が分布されている。

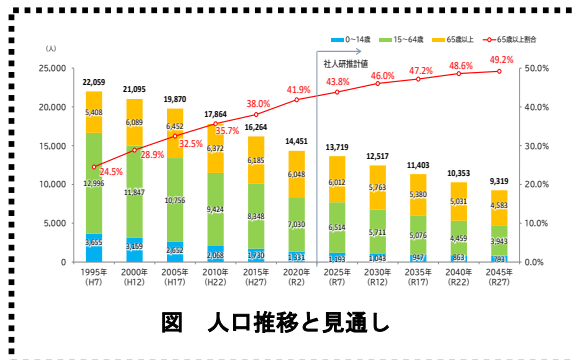


図 人口推移と見直し

<課題>

- ①会津田島駅周辺に点在する交通空白地の解消と利便性向上
- ②伊南・南郷地域の公共交通ネットワークの見直し
- ③近隣市町村との移動手段の確保
- ④町外⇄町内の円滑な移動環境の維持と接続時間の向上
- ⑤近隣自治体が運行する移動サービスとの適切な連携
- ⑥安全・安心して利用できる待合環境の確保
- ⑦情報媒体の拡充と運行内容の発信強化
- ⑧持続可能な公共交通に向けた安定的な経営基盤の構築
- ⑨人材不足の解消
- ⑩安全・安心な生活を支える公共交通体系の構築
- ⑪通学を支える公共交通ネットワークの構築
- ⑫観光振興を促すアクセス手段の確保
- ⑬脱炭素社会に向けた公共交通の見直し
- ⑭新たな技術の活用に向けた検討

<基本方針>(案)

- 方針①: 町民の生活と交流を支える地域公共交通体系の形成
- 方針②: 利用者ニーズに合わせた公共交通の利便性・安全性の確保
- 方針③: まちづくりと連動した地域公共交通の構築
- 方針④: みんなで支え、はぐくむ公共交通の体制づくり

<目標>(案)

- 目標①: 中心部・郊外部・広域を結ぶ公共交通体系の確保・維持
- 目標②: 快適で便利な利用環境の充実
- 目標③: 分かりやすい案内情報の充実と地域公共交通を利用した外出機会の創出
- 目標④: 公共交通を守り・育てる機運の醸成

4. (1) 町民アンケート調査(2,000票配布、807票回収(回収率40.4%))

- ・買い物の移動手段は全ての世代で自家用車が最も多く、公共交通を利用している割合は80代が9.1%であり20代以下での利用は一切見られなかった。
- ・通院先を見ると町外よりも町内での流動が多い。特に田島地域に集中している。
- ・公共交通を利用するうえでの不満な点についてはすべての世代で「出発する時間帯が合わない」が多く見られた。

【公共交通に必要なサービス・施策】

- ・免許証を返納しても移動手段を確保できるよう持続可能な公共交通に向けた安定的な運営・運行体制の構築。

4. (3) 乗合・デマンドタクシー利用者アンケート調査(回答37票)

- ・午前の時間帯での乗車が多い。南郷地域乗合タクシーに限っては午後の利用者も多くみられた。
- ・外出目的は全路線に共通する項目は「通院」であった。次いで「買い物」の回答も多かった。
- ・「行きの運行時間が合わない」「帰りの運行時間が合わない」などの運行時間と移動時間のミスマッチがみられる。



図 乗合・デマンドタクシーの不便に感じる点

【地域の交通の目指す姿】

基本理念である快適で充実した生活が送れる魅力ある公共交通ネットワークの形成に向け、本年度策定する公共交通計画に基づき、令和6年度からは交通事業者や庁内、関係機関等との協議・調整等を踏まえながら、運行内容の見直しを行うと共に、運行内容の余裕を持った周知を行うことで、町民に利用され、日常生活により良い地域公共交通を構築する。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年12月21日

協議会名:	南会津町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	南会津町は、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に該当する過疎地域であり、人口:13,774人(令和5月12月1日現在)、面積:886.47平方キロメートルである。 少子高齢化が進む中山間地域であり、平成18年3月の町村合併に伴い広域的な公共交通の体系が必要となり、交通不便地域の解消に取り組んでいる。特に高齢者にとって、距離のあるバス停までのアクセスの不便さを解消し、買い物や通院などの利用ニーズに配慮した移動手段の充実を図るため、荒海地域・長野地域・栗生沢地域の一部、館岩地域内、館岩田島地域間、桧沢地域の6地域エリアにおいてドアツードアの区域型デマンド運行により、日常生活に必要な移動手段の確保を図っている。

1 地域特性・移動特性

■地域特性（人口、施設立地、今後のまちづくり）

- 総人口は、1995 年（平成 7 年）をピークに現在まで減少傾向にあります。また、今後も人口減少は進み、およそ 20 年後の 2040 年（令和 22 年）には 10,353 人になると見込まれている。
- 商業及び医療施設の立地をみると、田島地域に集積する一方、舘岩・伊南・南郷地域は小規模な集積となっている。
- 人口は会津田島駅周辺に集中しているものの、広範囲に低密度で人口が分布している。

■移動特性（買い物、通勤・通学、通院）

- 買い物・通院は主に舘岩・伊南・南郷地域から田島地域への移動が多く見られる。一方で会津若松市への広域的な移動も見られる。
- 町外への通勤・通学は、会津若松市への移動が多く見られる。
- 町内登下校時の主な移動手段は、「スクールバス」または「送迎」であり、広範囲・高密度のスクールバスを維持するための財政負担の増加と保護者による送迎の常態化が見られる。

2 公共交通ネットワークの現状

■公共交通ネットワーク（カバー状況、サービス状況、待合拠点、公共交通以外の移動手段）

- 町内では会津鉄道・野岩鉄道・路線バス・乗合タクシー・デマンドタクシー・一般乗用タクシーと様々な交通サービスを提供され、会津田島駅を中心に放射線上にネットワークを形成している。
- 会津田島駅周辺では田島・山口・内川線の運行やデマンドタクシーがサービスを提供しているものの、公共交通のカバー圏域から外れた地区が点在する。加えて、デマンドタクシーの運行間隔の開きにより、利用しづらい状況や利用の低迷が見られる時間帯があり、運行内容の見直しが求められている。
- 地域間の移動を支える路線バスの確保・維持に向け国の財政支援を受けているが、このままでは補助要件を満たせず財政負担の増加による持続性の低下が懸念され、喫緊の課題となっている。
- 町外への移動を支える会津鉄道・野岩鉄道はコロナ前の水準まで利用者が戻り切らない状況が続いている。さらに時間帯別の利用状況を見ると、鉄道利用ピーク時に公共交通が運行しておらず、鉄道とその他公共交通機関の円滑な乗り換えに向けた接続性の向上が求められている。
- 紙媒体のリーフレットの作成・配布のほか、会津乗合自動車株式会社が独自にバスロケーションシステム等による情報発信を展開しているが、公共交通未利用者を中心に乗車前に必要な情報が行き届いておらず、情報発信の内容や発信媒体の見直しが求められている。
- 町内には多くの観光資源があるが、生活移動を中心とした交通サービスであるため観光需要を取り込み切れていない実情があり、新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症移行後の観光需要の回復に寄与するための公共交通の見直しが求められている。

3 各種調査から見てきた実態・町民及び事業者の意向

- 公共交通の利用有無を地域別に見ると、全域で利用状況は低い状況にある。
- 高齢者の公共交通の利用割合は 1 割弱と少ない状況にあり、自家用車に頼るケースが多くを占めている。一方で、現在の移動手段に対する不安などを感じている側面もみられ、公共交通に対する潜在的ニーズも感じられる。
- 通学時の移動手段は「送迎」が多く、保護者負担は 7 割以上を占め、保護者の送迎負担の軽減が求められている。
- 公共交通サービス供給者側からは、乗務員不足と乗務員の高齢化による後継者不足が喫緊の課題として挙げられている。
- デマンドタクシー利用者からは、運行時間の見直しなどの利便性向上が求められている。

4 社会情勢の変化、上位・関連計画から公共交通の位置づけ

■第 3 次南会津町総合計画で掲げる将来像

- 「自然と人が笑顔を育むまち～ともに生きる みんなのふるさと～」の実現に向けて、公共交通の利便性が向上し、町民みんなが移動しやすいまちを目指している。

■公共交通の確保・維持の役割（都市計画マスタープランなど）

- 「人・まち・みどりをつなぐ未来へつながる南会津」の実現に向け①賑わいの創出②居住環境の質の向上③交通ネットワークの維持④安全・安心の確保⑤自然環境の管理活用を目指している。

- その中で広域及び地域間の公共交通ネットワークの確保・維持が求められている。

■MaaS や自動運転の新たな技術の台頭

- 2030 年までに温室効果ガスの排出削減を 26％減少する目標を掲げ様々な取り組みを実施しており、尾瀬沼へ運行する車両は電気バスを導入している等の対策を講じている。
- デジタル技術の進展により会津乗合自動車株式会社がオープンデータの作成・更新やスマートフォンを活用したバスロケーションシステムを導入し、公共交通に関するデジタル情報の整備に加え、交通 IC カードの決済システムの整備が令和 5 年度に予定され、更なる利便性向上が期待できる。

南会津町の公共交通を取り巻く課題

課題 1：会津田島駅周辺に点在する交通空白地の解消と利便性向上

課題 2：伊南・南郷地域の公共交通ネットワークの見直し

課題 3：近隣自治体との移動手段の確保

課題 4：町外⇄町内の円滑な移動環境の維持と接続時間の向上

課題 5：近隣自治体が運行する移動サービスとの適切な連携

課題 6：安全・安心して利用できる待合環境の確保

課題 7：情報媒体の拡充と運行内容の発信強化

課題 8：持続可能な公共交通に向けた安定的な財政基盤の構築

課題 9：人材不足の解消

課題 10：安全安心な生活を支える公共交通体系の構築

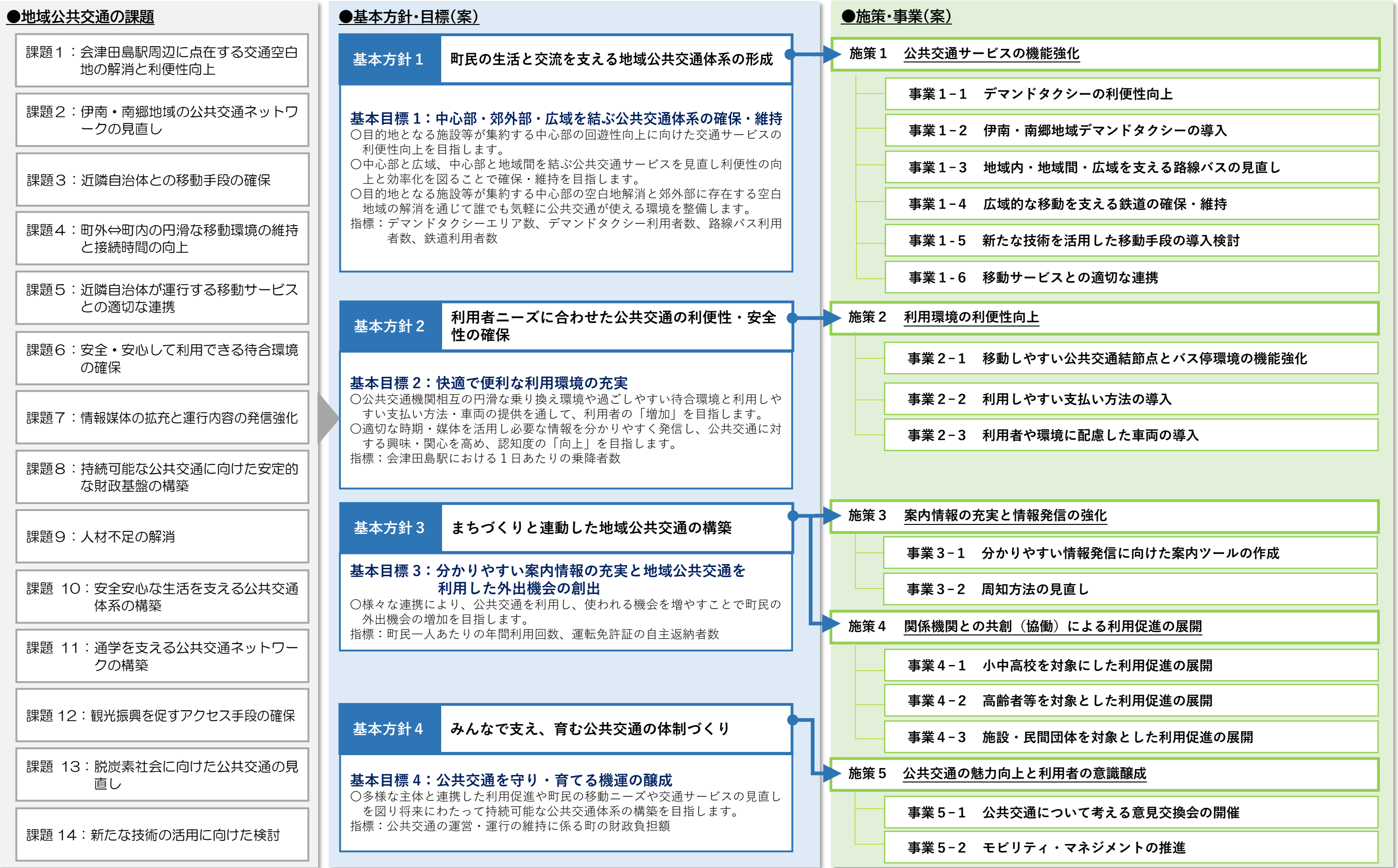
課題 11：通学を支える公共交通ネットワークの構築

課題 12：観光振興を促すアクセス手段の確保

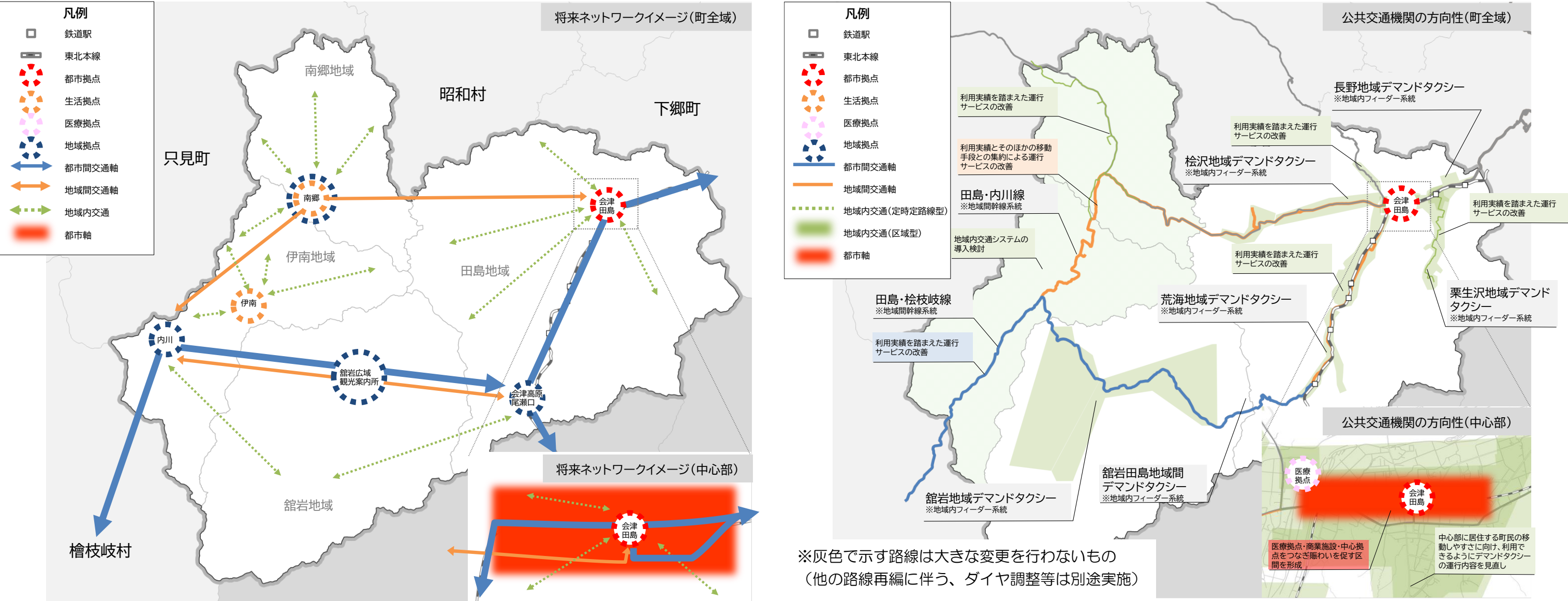
課題 13：脱炭素社会に向けた公共交通の見直し

課題 14：新たな技術の活用に向けた検討

基本理念: 快適で充実した生活が送れる魅力ある公共交通ネットワークの形成



2. 将来ネットワークイメージ（案）



【基本的な考え】

- 中心部に都市軸を形成し中心部の賑わいに資する回遊性の向上を図りつつ、中心部と広域・地域間を結び連携を強化することで町内各地域の誰もが住み続けられる持続可能な公共交通ネットワークを形成します。
- 地域内のネットワークを形成し、地域拠点及び生活拠点を結節して中心部との結びつきを強化します。

表 南会津町の地域公共交通の機能等

交通モード		役割	主な対象
都市間交通軸	鉄道	○県計画と連携し、隣接する県や圏域間、圏域内の広域的な連携を支える、公共交通ネットワーク	会津線、田島・松枝岐線
	路線バス		
地域間交通軸	路線バス デマンドタクシー	○都市間交通軸を補完するサービスを提供し、地域間の移動を支える、公共交通ネットワーク	田島・内川線、館岩・田島線
地域内交通	乗合タクシー デマンドタクシー	○地域間交通軸を補完するサービスを提供し、地域内及び地域間の移動を支える、公共交通ネットワーク	乗合タクシー、デマンドタクシー、新たな技術を活用した交通サービス
そのほか	一般乗用タクシー等	○鉄道、路線バス、予約型乗合タクシーでは対応できない小さな需要に対応	市内を運行するタクシー、公共交通以外の移動サービス
都市軸	路線バス	○会津田島駅周辺内の住宅地・医療機関・商業施設・文化施設・公共施設を結ぶ軸	都市間交通軸、地域内交通を形成する路線の都市軸区間(県立南会津病院～会津田島駅～南会津ふるさと物産館～南会津町役場)

表 南会津町の拠点機能等

	役割	公共交通結節点(候補案)
都市拠点	○都市機能が集積する町中心部において、人々の移動の主要目的地となる拠点 ○都市間交通軸、地域間交通軸と地域内交通との乗継拠点(ターミナル拠点)	○会津田島駅
生活拠点	○都市間交通軸及び地域間交通軸と地域内交通の乗継拠点 ○地域内の生活の拠点となり町民が集う場所	○南郷総合支所、伊南総合支所、館岩総合支所
地域拠点	○都市間交通軸と地域間交通軸又は地域内交通の乗継拠点	○会津高原尾瀬口駅、山口営業所、館岩広域観光案内所、内川バス停
医療拠点	○住民の医療・福祉を支える拠点として、充実した医療・福祉機能の維持・確保を図る拠点	○県立南会津病院